

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号		4M1840		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		機械工学科		対象学年		4	
開設期		前期		週時間数		前期:2	
教科書/教材		藤本温編著『技術者倫理の世界』 第3版 森北出版、K-SEC分野別教材					
担当教員		前田 隆二					
到達目標							
1. 社会が求める技術者の倫理を説明できる。(B2) 2. 社会に対する技術者の義務を説明できる。(A3) 3. 技術者と社会と組織の関係性を説明できる。(B2) 4. ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができる。(B2)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		社会が求める技術者の倫理を説明できる。		社会が求める技術者の倫理をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の倫理を説明できない。	
評価項目2		社会が求める技術者の義務を説明できる。		社会が求める技術者の義務をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の義務を説明できない。	
評価項目3		技術者と社会と組織の相互関係を説明できる。		技術者と社会と組織の相互関係をほとんど説明できる。		技術者と社会と組織の相互関係を説明できない。	
評価項目4		ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことができる。		ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことがほとんどできる。		ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		技術が発展していく中で、技術者に対して要求されうる倫理を学び、モノを作り出す上で必要な倫理的知識を修得する。また、技術者がモラルに反しない行動をするために社会との関係性を考察する。グループワークやディスカッション等を通じて、社会に出た後に実践・応用できる倫理観を養う。 この科目は学修単位科目のため、事例研究としてのレポートの提出、授業後の質問課題の提出を実施する。					
授業の進め方・方法		予備知識：技術が発展していくにつれて、技術者に対する社会的要求が高度になってきていることを自覚し、講義へ望むことが期待される。 講義室：四年各教室または情報セキュリティ演習室 授業形式：講義、事例紹介、グループ討議、発表 学生が用意するもの：教科書、ノート、ファイル(配布資料用)					
注意点		評価方法：試験（A3,B2）50%、発表・レポート等（A3）30%、ディスカッション内容（提出物・相互評価・態度等）（B2）20%とし、各項目で60点以上かつ総合成績60点以上を単位取得とする。 自己学習の指針：各自、教科書の関係箇所や配布資料を熟読し、試験やグループディスカッションに備えること。 オフィスアワー：月曜日16:10～17:00					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 技術者の視点		学習目標や方法・評価などや技術者倫理とは何かを理解できる。		
		2週	チャレンジャー号爆発事故 技術者倫理とは		チャレンジャー号爆発事故の概略を説明でき、組織や個人の観点から様々な意見を聞き、考えることができる。		
		3週	倫理と法1		倫理と法の関係性を理解できる。		
		4週	倫理と法2		六本木ヒルズ回転ドアの事故の概略を説明でき、組織や個人の観点から様々な意見を聞き、考えることができる。		
		5週	倫理規程		倫理規程の内容、意味、目的やプロフェッショナルに付随する倫理を理解できる。		
		6週	安全性とリスク1		用語を把握し、危険と安心の感覚を理解し、倫理問題の所在を理解できる。		
		7週	安全性とリスク2		グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。 (K-SEC分野別教材)		
		8週	費用便益分析と製造物責任法1		費用便益分析と製造物責任法について説明できる。		
	2ndQ	9週	費用便益分析と製造物責任法2		フォード・ピント事件に対して様々な視点から考察し、グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		10週	倫理問題の特徴		倫理問題の特徴を理解できる。		
		11週	組織の問題1		グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		12週	組織の問題2		三菱リコール隠しに対して様々な視点から考察し、グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		13週	公益通報－内部告発－1		公益通報を説明できる。		

		14週	公益通報－内部告発－2	グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。	
		15週	優れた技術者をめざして 全体のまとめ	持続可能な社会、環境問題を説明できる。 優れた事例を通して、技術者の視点、公衆の視点や技術者倫理を習得することについて理解し、実践とのつながりについて説明ができる。	
		16週	前期定期試験		
評価割合					
		試験	発表	ディスカッション	合計
総合評価割合		50	30	20	100
基礎的能力		50	30	20	100
専門的能力		0	0	0	0
分野横断的能力		0	0	0	0